

令和6年度 中学生チャレンジテスト(3年生)の結果概要

大阪市教育委員会

○調査目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

○調査実施日

・令和6年9月3日(火)

○実施校数

・129校(473校)

○実施生徒数

・15,151人(58,369人)

○学力に関する調査

・国語、数学、英語、社会、理科(A・B・C)

○学習状況に関する調査

・生徒アンケート

※実施校数、実施生徒数、平均点、無解答率の()内の数字は大阪府である。

※集計値/グラフは、9月3日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

中学校3年【国語】

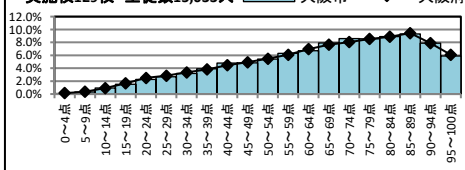
平均点

65.4(65.2)点

無解答率

4.9(5.3)

実施校129校 生徒数15,033人



良好

- 文章全体の中で、段落にどのような役割をもたせるか考えること
- 文章の中で接続する語句の働きを理解すること

課題

- 聞き手を意識し、自分の考えが明確に伝わるように、話の構成を整理して話す内容を考えること
- 前後の文脈に合わせて適切な表現で書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★話す内容を検討するときは、自分の考えが分かりやすく伝わるよう話す順序を意識して構成を考えましょう。また、自分の考えが明確になるよう、数値など具体的な根拠を挙げるようにしましょう。
- ★書くときは、前後の文脈を把握しながら、文の成分の順序や文体を意識するようにしましょう。特に、普段から文の主語と述語が合っているかを見直すようにしましょう。

中学校3年【数学】

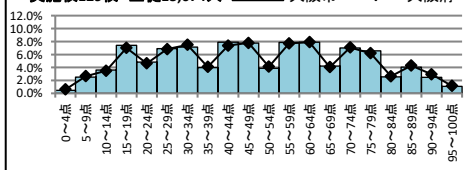
平均点

48.8(49.1)点

無解答率

14.3(14.8)

実施校129校 生徒15,074人



良好

- 数の並びに関する問題場面において考察の対象を明確に捉えること
- 数量や図形等についての基礎的・基本的な知識・技能に関すること

課題

- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- 提示された方針やすじ道を活用して証明すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★度数や階級値、累積度数など用語の意味を正しく理解しましょう。また、データの分布についての基礎的な概念や原理・法則などを捉え、説明できるようにしましょう。
- ★証明をする際に、結論を導くために必要な事柄を結論から逆向きに考えたり、仮定や仮定から導かれる事柄を明らかにしたりしましょう。

中学校3年【英語】

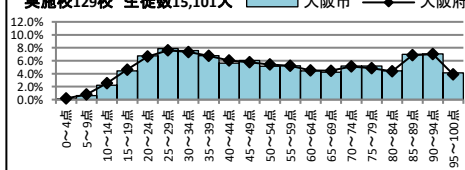
平均点

54.0(53.6)点

無解答率

6.5(6.9)

実施校129校 生徒数15,101人



良好

- 日常的な話題についてまとまった会話を聞き、概要を捉えて、要点を正確に把握すること
- 疑問詞に係る基本的な文法事項等を理解し、書くこと

課題

- 与えられた情報に基づいて、指示された英文を正しく書くこと
- 社会的な話題についての会話文を読み、概要や要点を捉えること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★正確な英文を書くためには、相手に分かりやすく伝えることを意識した上で、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書きましょう。
- ★社会的な話題の概要や要点を捉えるためには、書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断して捉え、自分の意見や考えをもちながら読みましょう。

標準化得点を活用した 経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
※令和4年度と令和6年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。

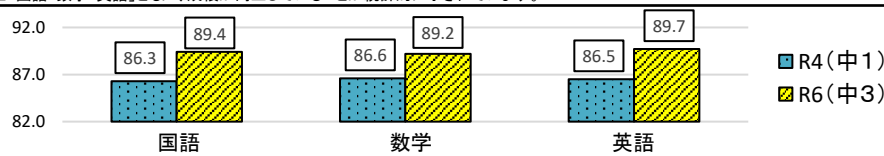
【大阪市全体の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、成績が向上していることが統計的に示されています。



【学力に課題の見られる生徒(区分Ⅳ)の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、成績が向上していることが統計的に示されています。



※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けて分析しました。
なお、得点と同じ場合は上位の区分に含んでいます。

中学校3年【社会】

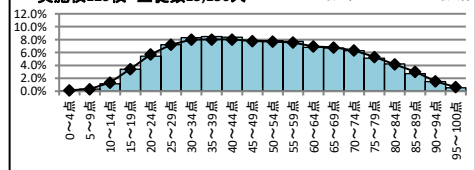
平均点

50.2(50.4)点

無解答率

4.7(5.0)

実施校129校 生徒数15,130人



良好

- 土地の標高について、地形図から読み取った情報をもとに考察すること(地理)
- 日本の高度経済成長期について理解すること(歴史)

課題

- ヨーロッパ州の気候の特徴について、資料に示されている情報をもとに考察し、説明すること(地理)
- 日本と明との貿易について理解すること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★複数の資料を見比べたり結び付けたりして、課題の解決につながる情報を選択し、根拠を用いて説明するようにしましょう。
- ★海外との貿易について、主な貿易港や貿易品といった特徴を理解するとともに、国内の経済や社会にどのような影響を与えたのかについて考えるようにしましょう。

中学校3年【理科B】

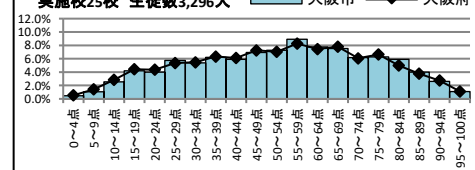
平均点

53.1(52.4)点

無解答率

4.3(5.0)

実施校25校 生徒数3,296人



良好

- 胎生について理解すること
- 節足動物の特徴について理解すること

課題

- 溶解度曲線をもとに、実験の計画と結果の見通しを立てること
- コイルに電流を流したことで生じる誘導電流について考えること

中学校3年【理科C】

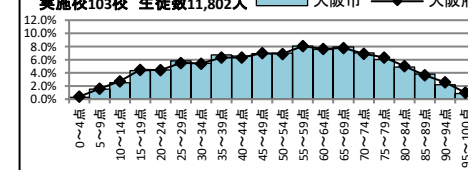
平均点

52.1(52.3)点

無解答率

4.1(4.4)

実施校103校 生徒数11,802人

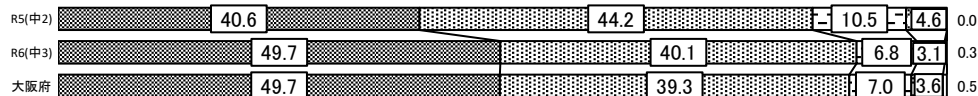


【これからの学習に向けたアドバイス】

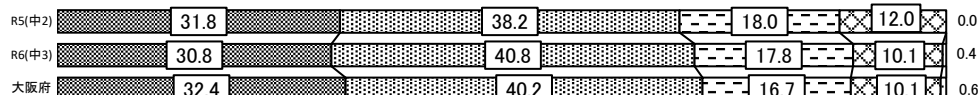
- ★溶解度曲線から読み取った物質の溶解度の違いを整理し、実験条件における規則性を見だし、それぞれの計画について結果の仮説を立てて検証できるようにしましょう。
- ★コイルに流した電流と発生する磁界との関係、また誘導電流が生じる条件について整理し、実験内容をふまえた結果を予想することができるようにしましょう。

生徒アンケート結果

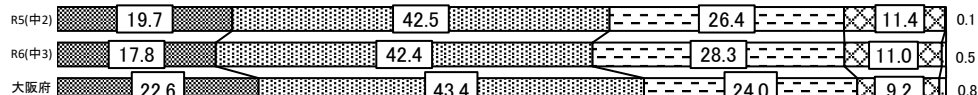
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



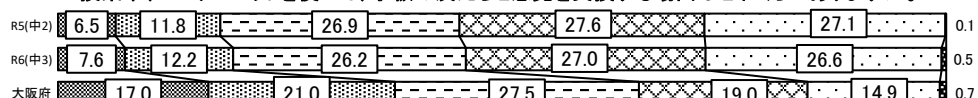
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



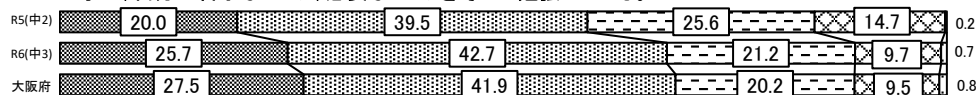
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



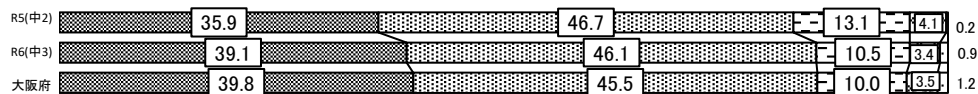
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



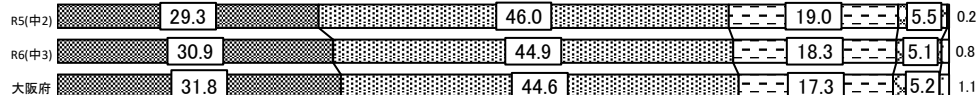
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



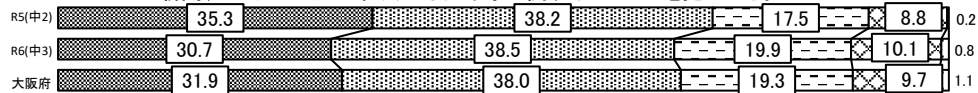
7. 学校などで、他の人と協力し合ことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



1~3、5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



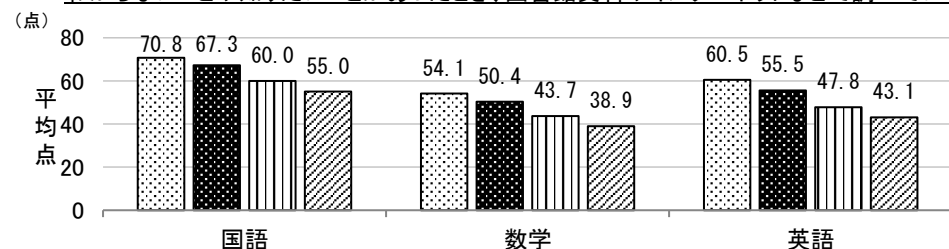
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □10分以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない
□10分より少ない ■全くない □その他・無回答
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない
□1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない
■スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

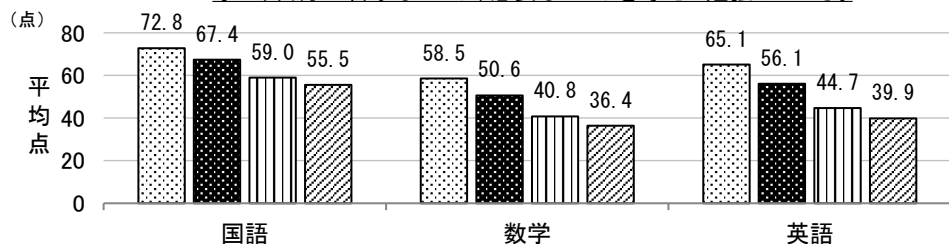
わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



□1 当てはまる ■2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べていると肯定的に回答している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



□1 当てはまる ■2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強していると肯定的に回答している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。